

再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応(No.4 - 14)

件名	安全冷却水系冷却水循環ポンプの停止																								
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要</p> <p>燃料貯蔵プール水冷却系熱交換器の切替え作業中、安全冷却水の流量が過大に流れるのを防止する制御系が故障状態で切替操作を行ったことにより、一時的に流量が増加し、安全冷却水系冷却水循環ポンプの入口圧力が一時的に低下したため、当該ポンプが故障により1台停止し、予備機なし</p> <p>* 他建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。</p>																								
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する建屋換気設備が稼働している建屋内での事象であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は、放射性物質等の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 安全冷却水系統内の圧力の低下等が発生したときには、複数の検出器によりこれを確実に検知し、使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋の制御室に警報を発し、運転中のもう1系統のポンプにより安全冷却水系の機能を維持できることから、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って安全に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 使用済燃料受入れ・貯蔵施設は既に操業を開始しており、独立していることから、再処理施設本体における試験運転への影響は生じない。</p>																								
対応の概要	<p>(1) 運転中のもう1系統の安全冷却水系ポンプに異常のないことを確認する。</p> <p>(2) 当該ポンプの故障の原因を調査し、部品交換等が必要な場合は定められた保守作業手順書に従って交換を行う。</p> <p>(3) 動作確認後、定められた操作手順書に従い当該ポンプを起動する。</p>																								
公表区分	休祭日を問わず速やかに公表(プレス公表)																								
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 10%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価</td> <td colspan="8">レベル0以下</td> </tr> </table> <p>放射線物質の外部放出 (工場外への影響) 放射線物質による汚染、被ばく等 (工場内への影響) 運転制限範囲からの逸脱等 (多重防護の劣化)</p>	国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下	1	2	3	4	5	6	7	日本原燃による評価	レベル0以下							
(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																					
国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下	1	2	3	4	5	6	7																	
日本原燃による評価	レベル0以下																								

事象概要

